

私立大学図書館協会 2018 年度第 1 回東地区部会役員会
議事要録

日 時 : 2018 年 4 月 20 日 (金) 14 : 00 ~ 16 : 00

場 所 : 霞ヶ関ビル 35 階 東海大学校友会館 三保の間

出席校 : 会長校 名城大学	(佐川、皆見)
部会長校 東海大学	(中嶋、紅谷、平井、田崎、福井)
研究部担当理事校 成城大学	(田嶋、新井、緑川)
分科会更新担当理事校 創価大学	(前田、石山、澤登)
分科会月例担当理事校 聖心女子大学	(塩谷、花上)
地区ブロック選出理事校 郡山女子大学	(和知)
監事校 東洋大学	(和田、布施、高橋)
次期部会長校 法政大学	(高畑、吉田)

※敬称略

配付資料 :

- ・私立大学図書館協会 2018 年度第 1 回東地区部会役員会 (以下「役員会資料」と記載)
- ・資料 1 私立大学図書館協会 2018 年度第 1 回常任幹事会
- ・資料 2 私立大学図書館協会 2018 年度東地区部会総会及び関連諸会議のご連絡について
- ・資料 3 2018 年度研修会 (地域研修)「ライティング支援研修プログラム概要」(案)
- ・資料 4 2018 年度オンデマンド研修「図書コース」「雑誌コース」2018 年度版 (案)
- ・資料 5 私立大学図書館協会東地区部会歴代役員校一覧

議事に先立ち、部会長校東海大学附属図書館長の挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。議事進行は、東海大学附属図書館長中嶋卓雄が担当した。

議 事 :

[報告事項]

1. 東地区部会関係

2017 年度東地区部会会務報告

部会長校東海大学より、役員会資料 (PP.3-7) に基づき報告がなされた。

2017 年度東地区部会研究部活動報告

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料 (PP.8-9) に基づき報告がなされた。

※資料に不備があり「研究部活動報告」の一部が欠落していたため、後日資料の差し替えを行った。

2. 2018年度第1回常任幹事会報告

会長校名城大学より、2018年4月6日（金）に開催された常任幹事会について、資料1に基づき報告があった。

その中で、第79回（2018年度）総会・研究大会については、開催会場が深草キャンパスから大宮キャンパスへ変更となったことが説明された。（関係者へは連絡済）

※資料のうち「3. 西地区部会会務報告」が欠落していたが、確認の結果、後日各出席校へ送付された。

【協議事項】

1. 2017年度東地区部会事業報告

部会長校東海大学より、役員会資料（P.11）に基づき説明がなされ、協議の結果、承認された。

2. 2017年度東地区部会決算報告

部会長校東海大学より、役員会資料（P.12）に基づき決算報告がなされ、監事校東洋大学の監査を受け適正であると認められたとの報告があり、協議の結果、承認された。

3. 2017年度東地区部会研究部決算報告

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料（P.13）に基づき決算報告がなされ、監事校東洋大学の監査を受け適正であると認められたとの報告があり、協議の結果、承認された。

4. 2018年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

部会長校東海大学より、役員会資料（PP.14-15）に基づき以下のとおり説明がなされ、協議の結果、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

【事業計画（案）】

- ・役員会資料参照。

【予算（案）】

例年通りの予算科目となっている。特記事項は以下の通り。

<収入の部>

- ・協会交付金：加盟校で2校脱退した分が減額となった。
- ・前年度繰越金：2017年度は8,227,023円であったが、研修など各事業を行った結果、2018年度予算の繰越金は5,116,426円となり減額となった。

<支出の部>

- ・事務長会・管理職研修：隔年開催のため、2018年度予算計上はない。
- ・研究部交付金：2018年度研究部事業予算に対して2017年度研究部次年度繰越金を差し引いた差額分を交付した。

5. 2018年度研究部活動計画（案）及び予算（案）

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料（PP.16-17）に基づき以下のとおり説明がなされ、協議の結果、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

【研究部活動計画（案）】

- ・研究分科会のうち、和漢古典籍研究分科会とレファレンス研究分科会が存続となり、分類研究分科会、西洋古版本研究分科会、パブリック・サービス研究分科会が休会となった。企画広報研究分科会は2年連続で会員が集まらなかったため廃会となった。
- ・オンデマンド研修については、2018年度は「雑誌コース」と「図書コース」の開講を予定している。（いずれも12週間3ヶ月のコース）

【予算（案）】

資料の記載に誤りがあったため、以下の通り修正となった。

収入の部「部会交付金」	18年度予算(A)	誤 1,868,382 円	→	正 1,868,882 円
	差異(A-B)	誤 2,831,618 円	→	正 2,831,118 円
収入の部「合計」	18年度予算(A)	誤 3,690,500 円	→	正 3,691,000 円
	差異(A-B)	誤 1,040,500 円	→	正 1,040,000 円
支出の部「予備費」	18年度予算(A)	誤 100,000 円	→	正 101,000 円
	差異(A-B)	誤 29,000 円	→	正 30,000 円

昨年度からの変更は以下の通り。

<収入の部>

- ・部会交付金：2018年度研究部事業予算に対して、前年度繰越金を差し引いた額。

<支出の部>

- ・研究講演会（部会総会）開催費：外部の講師2名分の謝礼とその旅費を計上した。
- ・研究会（交流会）開催費：講師1～2名の謝礼、交通費等を計上した。
- ・研修会（地域研修）開催費、オンデマンド研修費：見積もり金額通り。
- ・分科会助成金（基本助成）：活動中の3分科会と休会中の3分科会が期中に活動再開した場合に備えて6分科会分を計上した。
- ・分科会助成金（割増助成会員）：30名分を計上した。

6. 2018年度運営委員及び研修委員について

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料（P.18）に基づき報告がなされ、協議の結果、承認された。

7. 2018年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催（案）について

部会長校東海大学より、役員会資料（P.19）及び資料2に基づき、以下のとおり説明がなされ、

協議の結果、承認された。

【部会総会】

共立女子大学神田一ツ橋キャンパスを会場として6月8日（金）に開催する。

【館長会】

テーマは「図書館職員の専門性の担保と業務委託について」とする。

グループ討議を実施するため、テーマに関する事前アンケート調査を実施する予定。

【研究講演会】

テーマは「大学図書館における支援の在り方を考える」として2名の講演を予定している。

（意見）

館長会の事前アンケートについて、「2. 業務委託の導入状況について」に『業務委託人数』とあるが、例えば4名枠で8人を雇っている場合は、4と記入するのか、8と記入するのか、記入方法の指針があれば、追記したほうがいいのではないか。（東洋大学）

『日本の図書館』（日本図書館協会）に提出の数値と同じにしてはどうか？（創価大学）

（回答）

いただいた意見を参考に検討する。（東海大学）

8. 2018年度研修会（地域研修）「ライティング支援研修プログラム概要」（案）

研究部担当理事校成城大学より、資料3に基づき説明がなされ、協議の結果、承認された。

・北海道の北星学園大学にて10月19日（金）に開催予定である。現在プログラム内容など全般について検討調整中である。

9. 2018年度オンデマンド研修「図書コース」「雑誌コース」2018年度版（案）

研究部担当理事校成城大学より、資料4に基づき説明がなされ、協議の結果、承認された。

【懇談事項】

1. 東地区部会役員校、総会当番校の選出について

部会長校東海大学より、配付資料（資料5）に基づき報告がなされた。2018年3月26日現在、赤字で記されている大学はほぼ確定である。

2. その他

<質問>

決算書を見ての所感だが、例年繰越金の金額が大きすぎるのではないかと思われる。協会交付金（会費）の約2倍の金額が残額となっている。正常と思われる範囲は、実際の支出金額1年分く

らいではないか。例えば、必要な経費を増やして支出するとか、一時的に会費を下げるとか、何か処置をしてはどうか。(創価大学)

<意見>

・ごもっともな意見であり、普通の法人団体であれば取り上げられる。使途方法も含めて検討が必要である。(東海大学)

・例えば、海外研修予算を現在の2~3倍にすれば、積極的に参加される方が出てくれるのではないか。(創価大学)

・運営の効率化や各大学での負担を補うような支出など、そのような経費も必要になってくるので議論の機会を作りたい。(東海大学)

・役員校の担当について、打診をした大学では業務委託の導入等により専任職員が少ないため、引き受けることができないとの回答が多い。また、大学内において大規模な会場を確保できないといった問題がある。

今後このような状態が続くのであれば、会場を学外で借りたり、事務局を委託したりする方向も考えていかななくてはならない。予算の使い方も含め、全体的に検討が必要である。(東海大学)

・繰越金の件については、東地区だけではなく協会全体で考えていかなければならない問題である。

支出を増やす有効な手段として、会場を学外に出すのも1つの案であるが、事務局を委託するというのには検討が必要だ。いずれにしても、今後も全体的に議論を深めていきたい。(名城大学)

・東地区だけではなく、西地区も含めて協会として全体的に議論を進めるのが望ましい。(東海大学)

以 上